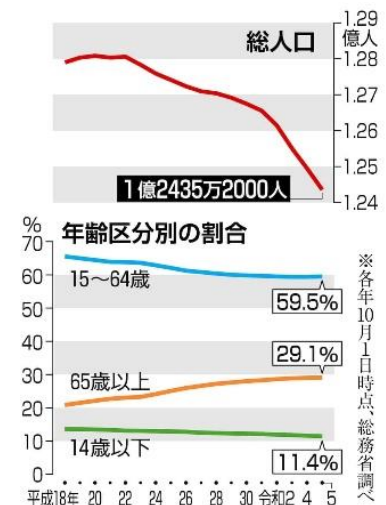


★総務省 24年推計 総人口 45都道府県で減少 前年比89万8千人減 1億209万6千人で過去最大の落ち込み

総務省が公表した2024年10月時点の日本人口は前年同月比89万8千人減の1億209万6千人で過去最大の落ち込み。また、出生者数が死亡者数を下回る「自然減」が拡大。15～64歳の「生産年齢人口」は22万4千人減の7372万8千人。一方65歳以上は1万7千人増しの3624万3千人で割合は29.3パーセントで過去最高。うち75歳以上は70万人増しの2077万人。団塊の世代が加わってきたことが原因。子供の数に至っては昨年より35万人減の1366万人で、44年連続の減少。子供が減るということは、国の勢いが無くなるということで非常に嘆かわしいことです。



★介護保険制度は 画期的改革 日本の財産 に暗雲 生産労働人口減少 高齢者数増加の一途

介護業界では 諸物価高騰よりも人材不足が深刻であると報告。介護の担い手を家庭内の女性から社会全体でみていこうと2000年に始まった介護保険制度は40歳以上の人にとっては実質的な増税であったが“国民の共同連携”を実現させたエポックメイキングな革命であり、日本の財産となった。制度の欠陥や介補報酬の切下げの改悪もあるが、元の状態には戻れない。ただ人材不足が深刻な事態となりつつある。

出生数の減少（出生数の多い沖縄でも減少傾向）や、国による制度の改悪等に伴い、既に破綻寸前である。動物は摂取できなくなれば「死」を意味する。処が介護は人類唯一の文化。例えAIや介護ロボット等の機械が発達しても最終判断は人間が操作しているので人材不足問題はどうしようもない。財源は不足して、国・県・市などは力を入れてくれない状況だが、もう少し積極的に外人労働者等に対して斡旋等を行って貰いたいものです。

長生きはしたいが 歳は取りたくない

揺りかごと 墓場の間 アッチゅう間

やる氣でる 魔法の言葉 褒め言葉

令和7年 清 明
(文責 MMY)



QRコード

むつみ荘だより
インターネットでも配信中！

あさぎりむつみ荘

検索



携帯電話・スマートフォンでもご覧になれます。

※一部対応していない機種もあります。

—広報編集委員—